造られた正倉院宝物

―奈良女子大学所蔵正倉院模造宝物の世界―

平成24年7月25日(水)～8月27日(月) 火曜休館　臨時開館 8月14日(火)

桑木阮咸捍撥図（高士清遊図）

密陀絵盆 鴛鴦紋

撥鏤棊子

籠箱

東大寺山堺四至図

記念講演会

正倉院模造宝物と吉田包春（よしだほうしゅん）

奈良女子大学 古代学学術研究センター 特任教授　松尾 良樹 氏

7月28日(土)　午後1時30分～3時
高岡市万葉歴史館・講義室　聴講無料（要入館料）
定員：先着120名　※お申し込みは電話・FAX・メール等で当館まで

TAKAOKA CULTURAL FOUNDATION

お申し込み・お問い合せ
高岡市万葉歴史館

〒933-0116　富山県高岡市伏木一宮1-11-11
TEL：0766-44-5511　FAX：0766-44-7335
E-mail：manreki@office.city.takaoka.toyama.jp
URL：http://www.manreki.com

平成24年度 夏の特別展示
造られた正倉院宝物 ―奈良女子大学所蔵正倉院模造宝物の世界―

聖武天皇・光明皇后夫婦のようなおしどり
―― 密陀絵盆 鴛鴦紋

万葉びとのあこがれた高士清遊の世界
―― 桑木阮咸捍撥図

奈良の大仏ができた頃の東大寺境内MAP
―― 東大寺山堺四至図

“越中ふんどし”のルーツは奈良にあり!?
―― 水褌

子日目利箒台

漆彩絵花形皿

蘇芳地金銀絵箱

黒柿蘇芳染金銀山水絵箱

展示品一覧

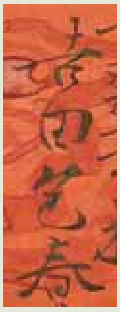
黒柿蘇芳染金銀山水絵箱 ／ 蘇芳地金銀絵箱 ／ 籠箱
密陀絵盆 虎・山水・飛鳥紋 ／ 山水絵図密陀絵盆 ／ 密陀絵盆 花喰鳥文
密陀絵盆 鴛鴦紋 ／ 紅牙撥鏤尺 ／ 撥鏤碁子 ／ 桑木阮咸捍撥図
黄金瑠璃鈿背十二稜鏡 ／ 漆彩絵花形皿 ／ 天平筆 ／ 金銀彩絵平卓
忍冬唐草鳳凰文小唐櫃（同付属鍍金海老錠） ／ 鳥毛立女模写屏風
子日目利箒台 ／ 密陀絵盆下絵絵巻 ／ 正倉院古裂絵巻
東大寺山堺四至図 ／ 水褌

※この他、当館所蔵の正倉院宝物複製も多数展示します。

明治以降、正倉院宝物は、すぐれた工芸作家によってその修復と模造製作が行われるようになりました。模造製作は、宝物の万が一に備え、宝物に代えて展示活用するとともに、その成果を保存管理に役立てる目的があり、現在も宮内庁正倉院事務所によって継続的に行われています。

正倉院の近くにある国立大学法人奈良女子大学には、昭和初期、宮内省から正倉院宝物の写しを命ぜられた工芸家吉田包春の作品をはじめとする正倉院ゆかりの品々が多数おさめられています。

本展では奈良女子大学所蔵正倉院模造宝物を中心に、当館所蔵の正倉院宝物の複製も展示し、聖武天皇の時代の美術工芸の数々を御覧いただきます。


子日目利箒台に記された「吉田包春」墨書銘

天平筆

同時開催

期間中、高岡市美術館で般若勘溪氏による正倉院宝物模佐波理加盤（2001）を展示しています。

利用のご案内

- **開館時間** 午前9時～午後6時（入館は午後5時15分まで）
- **休 館 日** 火曜日（ただし、8月14日(火)は臨時開館）
- **入 館 料** 一般 210円　中学生以下 無料
  団体（20名以上）・65歳以上 160円